

教科目名 実務実習 (Practical Training)

学科名・学年 : 機械・環境システム工学専攻 1,2 年

単位数など : 選択 2 単位

担当教員 専攻主任

授業の概要			
県内外の企業や公的研究機関などにおいて、実務実習を一定期間行うことによって、専門分野での自分の知識を確かめ、さらに発展させるとともに勉学の目的を明確にする。また、社会が要求し期待する人物像を具体的に把握するなど、職業人としての心構えについても学ぶ。さらに、実際のおよび実践的技術力を養成し、専門的能力、問題解決能力の重要性を理解させ、その後の専攻科における学習や特別研究をさらに実りあるものにする。実務実習の内容を報告書として提出させ、報告発表会を行う。なお、大学院進学希望の学生については大学の研究室で研究活動を体験することも実務実習とする。			
達成目標と評価方法		大分高専目標(D2) JABEE 目標(d2d)(h)	
(1) 社会人、職業人として社会から期待される人物像を具体的に把握し、その心構えができる。(報告書審査・報告会発表審査) (2) 専門分野での自分の知識を確かめ、生きた知識として確固たるものとする。(報告書審査) (3) 研修先の人々の指導や協力を仰ぎながら与えられた問題を解決することができる。(評価書審査) (4) 実習の経過や成果を報告書にまとめ、研修した成果を発表することができる。(報告書審査と報告会発表審査)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
	1. ガイダンス 2. 実習先の決定 3. 実習 4. 報告書の提出 5. 報告会	5月に専攻主任よりガイダンスがある。 専攻主任を通じて申し込みを行う。 実習期間は2週間以上とする。 実習後、各自報告書をまとめ、専攻主任に提出する。 成果を発表する。	【理解の度合い】
			【理解の度合い】
			【理解の度合い】
履修上の注意	実習先に失礼のないよう、注意すること。		【総合達成度】
教科書	なし		
参考図書			
関連科目	機械・環境システム工学専攻 全科目		
総合評価	達成目標の(1)～(4)について、企業からの評価書、本人の報告書、報告会の発表を総合して評価する。 総合評価は、下式で算出し、60点以上を合格とする。なお、報告会の発表の評価は専攻科担当教員が複数名で行う。また、評価書および報告書の審査は専攻主任が行うものとする。 $\text{総合評価} = \text{発表会の各教員の評点の平均} \times 0.6 + \text{評価書および報告書審査の評点} \times 0.4$ 各個別の評点は、100点満点で採点するものとする。		【総合評価】 点